

令和2年度 男女共同参画（デートDV予防）学習会 実施状況

大崎市では、すべての児童・生徒をDVの加害者・被害者にさせないために、お互いの人権について考え、良好なコミュニケーションを身につける機会、暴力や危険を回避する知識を提供するための学習会を実施しています。

また、第3次男女共同参画基本計画に基づき、自分と相手の性・生命の大切さについて意識醸成が図れるよう「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の考えを取り入れた学習会も合わせて実施しています。

今年度は、市立中学校9校（未実施2校）へ講師を派遣し、「デートDV予防学習会」を開催しました。

◆講話内容 A：人間関係とコミュニケーション中心

B：性・生命の大切さを中心

講 師 A：DV・デートDVファシリテーター 門間尚子氏

B：NPO法人ハーティ仙台相談員 伊藤みか氏

◆学習会を受講した感想

○生徒

- ・一人ひとり考えていることは違うので、それを認めることが大切だと思いました。また、もし自分が人間関係で悩んでいたら、しっかり身近な人に相談するようにしようと思います。そして、自分の周りで悩んでいる人がいたら、ひとりにせずに話を聞くように心がけたいです。
- ・どうして今デートDVを学ぶんだろうと考えていたけど、これから自分が受けてたり友達が受けることも十分にありえるので、今学ぶことで自分の人生や友達の人生を守ることができるんだということが分かった。
- ・このような学習会は今後の人生において、とっても大切な会だと思った。
- ・性教育というよりも、デートDV（暴力など）の話が7割くらいで、性についての知識が深められなかったのが残念でした。性教育講話という機会があって、普段話せないようなことを学ぶのに、コンドームの着け方などを教えなかったり、性行為の詳しい事情を伝えたりすることが少なかったのが、望まない妊娠などが増えていくのだと思います。
- ・たとえ付き合っているとしても、自分がされて嫌なことは絶対にしないことを改めて思った。性交するにあたって大事なことをちゃんと知っておかないとダメなことを知れたので、もし自分がそのような時になった時、友達がそのようなことをされた時などに、ちゃんと注意することができると思いました。

○先生

- ・生徒にとってはあまり知らない内容であったので、かみくだいての説明やロールプレイ、そして分かりやすく説していただいたので、生徒も理解していた。
- ・外部の専門的な方から実際にお話を聞くことで知識としての深まりを生徒から感じられます。
- ・男女間の関わり方はもちろん、人間関係の作り方、一人ひとりの性に対する考え方の違いなど、学校ではなかなか教えられない点に触れて講話していただき大変良かったです。
- ・保護者も含めて、講話を聞けたら良かったと思いました。
- ・中学3年生にとってはタイムリーな内容であった。今年度は難しかったが、夏休み前の実施が良いかと思います。

『学習会の風景』



ソーシャルディスタンスに配慮しての開催



生徒の疑問一つひとつに答える講師



コミュニケーションの良い例キャッチボール



SNS の悪い例デジタル暴力をロールプレイ